

11月 日本共産党県議団 県議会ニュース です

びぜん光正 県議が 12 月 1 日、11 月県議会（11/24～12/9）一般質問に立ちました。質問と答弁の要旨を紹介します。



慎重かつ厳正に審査－産廃処分場計画で県が答弁

びぜん 地質学者や地元の専門家などが作成した調査報告書では、①予定地付近を糸魚川－静岡構造線帯の松本断層が通過していることが示唆される、②地下に豊富な飲料・農業用水源である勝弦地下水盆が存在し、汚染すれば取り返しがつかない、③急傾斜地の上に人工盛り土がなされている、④東海地震や南海トラフ地震の影響も大きいとの調査結果が記載されている。計画は不許可とすべきでは。

環境部長 報告書は多くの専門家による調査分析が行われており、今後の審査の参考となる。廃棄物処理法の許可基準に基づき慎重かつ厳正に審査する。

びぜん 業者が採水する観測井戸の位置が不適切との不信を招いている。住民不安払しょくのため究明すべきだ。

環境部長 井戸の追加を業者に依頼している。

県でも活断層届け出条例の検討を－火山・活断層対策

びぜん 研究者養成にどう取り組むのか。

危機管理部長 国のリーダーシップの下で大学や研究機関が連携した取り組みが求められている。

びぜん 6 月議会でも取り上げた徳島県の活断層帯での学校・病院などの施設の新築等における届け出を必要とする条例は、多くの活断層を抱える本県こそ必要ではないのか。

阿部知事 対象外地域が安全と誤解される可能性がある。県が公表した地震被害想定 of 周知に努める。

星空観光と環境整備について

びぜん 阿智村のナイトツアーなど県内各所で星空を観光に生かした取り組みがある。県はどのように生かし発展させようとするか。

阿部知事 まず木曽地域で受け入れ施設や星空ガイド養成など検討しており、全県に展開して行くことが重要だ。

びぜん 特色ある観光を振興させるため、自然環境の維持に「星空憲章」など光害防止の努力をしているところもある。県として取り組みへの支援の考えは。

阿部知事 環境省の光害ガイドラインの周知や助言など推進していく。

質問を終えて

星空を守る光害防止の条例制定を 10 年以上取り組み、3 人の知事に質問してきました。省資源・自然エネルギーへの転換を求める運動は脱原発運動にとっても重要な取り組みです。今、県内で旺盛に取り組まれる星空観光や天文関係者の取り組みがもっと広まるよう頑張っていきます。

びぜん光正